

授業科目	単位数	時間数	授業内容	担当教員
基礎看護技術Ⅰ	1	30	対象の健康の回復・増進への看護をするうえで必要な基礎的要素、対象との関わり方（コミュニケーション）と医療現場における安全で安楽な看護を提供する技術と知識、態度を習得する。	三浦 緑
基礎看護技術Ⅱ	1	30	対象の健康の回復・増進への看護をするうえで必要な基礎的要素、対象の状況の把握方法（ヘルスアセスメント）と医療現場における安全で安楽な看護を提供する技術と知識、態度を習得する。	中村 富久子
基礎看護技術Ⅲ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な問題解決技術、患者教育技術、知識、態度を習得する。	沼田 礼子
基礎看護技術Ⅳ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な活動や休息、安楽を保つ日常生活援助技術、知識、技術を習得する。	青山 由希子
基礎看護技術Ⅴ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な活動や休息、安楽を保つ日常生活援助技術、知識、技術を習得する。	三浦 緑
基礎看護技術Ⅵ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な清潔・衣生活に対するの援助技術、知識、態度を習得する。	小杉 理恵子
基礎看護技術Ⅶ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な薬物療法に伴う援助技術、知識、態度を習得する。	武越 友子
基礎看護技術Ⅷ	1	30	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な創傷管理と検査・治療・処置に伴う援助技術、知識、態度を習得する。	横山 直美
地域・在宅看護概論Ⅰ	1	30	看護活動を実践するための地域・在宅看護の概念や機能を理解し、看護の対象である地域で生活する人々とその家族を理解する。対象の健康や暮らしを支援するための看護の役割、パートナーシップについて学ぶ。	品川 英恵
老年臨床看護Ⅲ	1	15	1. 老年期にある対象の身体・精神・社会的特徴をふまえ、既習の基礎知識と看護技術を応用し、日常生活活動の維持・回復に向けた適切な援助を展開する。 2. さまざまな健康状態にある老年期の対象および家族に対し、状況に応じた看護技術を安全・安楽に提供するための基礎的能力を養う。	山田 世喜子

看護実践の統合	1	30	臨床実践において、複数患者・多重課題に対応できる基本的実践力について学ぶ。	沼田 礼子
合計単位・時間数	11	315		
省令で定める授業時間数	9	240		

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表